

科目名 (科目番号)	生命倫理	教員名	窪田哲朗, 他	学科等	臨床検査	必修	履修年次	1
	(時間割参照)			曜日・時限等	時間割表参照	単位数	2	
				授業形態	講義	オフィスアワー	各担当教員シラバス参照	
授業概要	医療の知識・技術は常に進歩しており、それを取り巻く社会や医療に関する考え方も年々変わりつつある。臨床検査学分野の仕事は、人の生命に直接関係するため、患者・利用者等に対して生命倫理面でも適切に対応する必要がある。臨床検査技師においては高い倫理観が求められている。この授業では、生命倫理の基本原則の確立や普及に大きな影響を及ぼした倫理綱領・倫理規程や参考となる歴史的経緯を学ぶとともに、先端医療の具体例により生命倫理の今日的課題についての考え方を解説する。こうした学習を通して、生命倫理の基本原則を修得し、高い倫理観の涵養に役立てる。							
目的・目標	目的:生命倫理の基本原則を修得し、高い倫理観の涵養に役立てる。さらに、医療専門職としての医療現場における生命倫理の重要性を理解する。 目標:①生命倫理の基本原則を理解できる。 ②生命に関する高い倫理観を会得し、今後の臨床検査学分野の学習に活用できるようになる。							
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。							
授 業 計 画	回	授業項目	到達目標・学習内容					
	1	オリエンテーション・生命倫理の概略	到達目標:生命倫理の概略と生命の尊厳について理解する。 学習内容:オリエンテーションに加え、生命倫理の概略、生命倫理に関する歴史的実例を学習する。(診療放射線学科 大越教夫先生)					
	2	ヒポクラテスの誓いと職業倫理	到達目標:「ヒポクラテスの誓い」が現代の医療倫理に与えた影響について説明できる。 学習内容:歴史上最初の職業倫理とみなすことができるギリシャ時代の「ヒポクラテスの誓い」および現在の医療倫理の関連を学習する。(非常勤講師 馬場智理先生)					
	3	ニュルンベルク倫理綱領	到達目標:インフォームド・コンセントの概念がどのようにして生まれ、普及していったのか、その概略を説明できる。 学習内容:ニュルンベルク倫理綱領、インフォームド・コンセントの概略 (非常勤講師 馬場智理先生)					
	4	患者の自己決定権の保障	到達目標:患者の自己決定権の保障することがなぜ重要なのかについて説明できる。 学習内容:「患者の権利章典」、「患者の権利に関するリスボン宣言」(非常勤講師 馬場智理先生)					
	5	がんと難病の告知・緩和ケア、安楽死・尊厳死	到達目標:がんと難病の告知の倫理的な問題点と課題について理解する。 学習内容:がん末期や難病の告知の現状および緩和ケア、安楽死・尊厳死を学習する。(大越先生)					
	6	医療事故、薬害	到達目標:医療事故、医療事故への対応、代表的薬害について説明できる。 学習内容:医療事故、リスクマネジメントや薬害の事例を学習する。(大越先生)					
	7	脳死と臓器移植	到達目標:脳死と臓器移植の生命倫理上の課題について理解し説明できる。 学習内容:脳死の定義、死の三徴候、臓器移植の必要性、日本と外国の移植医療の違い、及び臓器移植法を学習する。(診療放射線学科:椎名清和先生)					
	8	生殖補助医療と人工妊娠中絶	到達目標:生殖補助医療、人工妊娠中絶の倫理的な問題点と課題について理解する。 学習内容:人工授精、体外受精、代理出産等の生殖補助医療と人工妊娠中絶の現状を学習する。(大越先生)					
	9	出生前診断・着床前診断と遺伝子診断	到達目標:出生前や着床前診断、遺伝子診断との関連の問題点について理解する。 学習内容:出生前や着床前診断と遺伝子診断、その対応を学習し、自己決定権と生命倫理面の問題点について理解し説明できる。(大越先生)					
	10	環境、動物、研究倫理、特別な配慮を要する医療	到達目標:歴史的環境問題、動物研究、研究倫理、特別な配慮を要する医療について理解する。 学習内容:地球環境、公害問題、動物実験、研究倫理の概略を学ぶ。また、特別な配慮を要する、受診、治療、医療費等の課題を学習する。(大越先生)					
	11	抗核抗体検査と生命倫理	到達目標:抗核抗体検査について、その歴史から将来展望に向けての潮流の概略を理解する。 学習内容:抗核抗体検査の技術的進歩と臨床的意義について学ぶ。(窪田)					
	12	血液検査と生命倫理	到達目標:臨床検査における血液検査の位置付けと将来展望について認識を深める。 学習内容:血液検査に関する研究テーマの例を挙げて解説する。(山口)					
	13	研究デザインと生命倫理	到達目標: Evidence-Based Medicine に貢献し得る医学研究のデザインについて理解する。 学習内容:研究デザインの種類を知り、倫理的制約や得られる研究成果の質の違いを学ぶ。(稲田)					
	14	遺伝子診断と生命倫理	到達目標:遺伝子診断にまつわる生命倫理について理解する。 学習内容:遺伝子診断に起こり得る影響を学習し、考察する。(伊藤)					
	15	動物実験と生命倫理	到達目標:動物実験の必要性、有用性、実施する場合の倫理的配慮について理解する。 学習内容:医学的研究における動物実験の位置付けと、必要な倫理的配慮。(鴻巣)					
成績評価の方法・基準	期末試験65%(1回～10回の内容に関して)、レポート35%(11回～15回の中から最も興味深かったテーマ1件を選んで提出する。)(対面、オンライン共通)							
教科書	生命倫理・医事法 第3版		塚田 敬義、前田 和彦			医療科学社		
参考図書								
教員からのメッセージ	教科書及び教員が用意する資料を利用して予習・復習をすること。レポートは評価して返却する。医療現場での実務経験を有する臨床検査技師および医師が担当する。オンライン授業に伴い授業計画に変更がある場合は、オンラインクラスで変更のシラバスを周知する。							